



## アメリカ合衆国独立記念日を祝う花火ショー

北陸銀行 国際部  
ニューヨーク駐在員事務所  
内間 洋子

7月4日猛暑の夜、第247回アメリカ合衆国独立記念日を祝う豪華な花火ショーが全米各地で開催されました。9:09pm、東海岸ワシントンD.C.のホワイトハウスでの打ち上げを皮切りに、9:25pmにはNY市、その後 中部地方、西海岸、アラスカ州、そしてハワイ州まで、6時間の時差を追って繰り広げられる一大イベントでした。また、全国各会場では花火ショーの前後に人気ミュージシャン達によるライブコンサートも開かれました。今年のCNN主催のNY会場では、5月に亡くなったロックンロールの女王、ティナ・ターナーのヒット曲「The Best」も演奏され盛り上がりました。

中でも、NY市の花火ショー“Macy’s Fourth of July Fireworks”は全米最大規模で、その模様は毎年CNNなどの地方チャンネルに加え、全国放送のNBCでも配信されました。アメリカ合衆国空軍バンドが奏でる愛国心溢れる音楽とともに、マンハッタン島横を流れるイースト川に設置された5つの発射台から6万発の色とりどりの花火が打ち上げられ、1,500万人がテレビ視聴し、現地での見学者も300万人を超えたそうです。



7月4日にイーストリバーに打ち上がった花火

今年第47回目を迎えた“Macy’s Fourth of July Fireworks”は、マンハッタンに世界最大規模の本店を構え、国内に504、海外に279店舗を展開する全米最大の百貨店チェーン『Macy’s（メイシーズ：創業1858年）』が毎年主催しています。元々は、独立記念日

とは関係なく、自社の創業100周年記念と自由の女神への賛辞として、1958年7月1日にハドソン川にて花火を打ち上げたのが始まりです。1964年に一旦途切れましたが、アメリカ合衆国独立200周年となった1976年からメイシーズとウォルトディズニー社が提携し、毎年7月4日に独立記念日を祝う行事として復活しました。その後、NY市も共同主催者となり、諸事情により打ち上げ場所を何度も変えながらも、途絶えることなく現在にいたっています。

2020年、新型コロナウイルスによる犠牲者数がピークとなり、市内のイベントがすべて中止された際も、「独立記念日の花火だけは、ニュー Yorker魂を鼓舞するために何が何でも開催する」という市長の固い意思のもと敢行されました。観客が密集するのを避けるために打ち上げ場所は秘密にされ、6月29日から7月4日まで6晩に分け、5分ずつ、エンパイアーステートビル、タイムズスクエア、イースト川など5箇所で打ち上げられ市民を元気付けました。

この花火ショーを数十年に渡り担当しているのは、カリフォルニア州に本社を置く世界最大の花火会社『Pyro Spectaculars by Souza』です。創業者のソウザ家は、1900年代初めにポルトガルからカリフォルニアに移民しました。ポルトガル移民の人々が祖国の祭日を祝うイベントで使う花火を当時の家長が自宅の裏庭で作ったのが始まりで、その後人気が出るとともに家族総出で生産を始めました。現在4代目となり、オリンピック、スーパーボウル、ワールドカップサッカー、ワールドシリーズベースボールなどの式典を飾る花火を手掛けています。メイシーズとともに、まさに移民の国アメリカのアメリカンドリームを体現している会社です。

メイシーズは、夏の独立記念日花火ショーの他にも、春のフラワーショー(1975年～)、秋の感謝祭バルーンパレード(1924年～)、冬のクリスマス・サンタランド、ディケンズ村(1861年～)など、ニューヨークを代表する歴史あるイベントを長きにわたって主催しています。市民の心に寄り添う、ノスタルジーとファンタジーに満ちたこれらのイベントがこれからも末長く続くよう祈ります。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。  
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp